

資料7 - 2

第7次府中市総合計画前期基本計画（素案）への事前意見等に関する対応案

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7 - 4 修正ページ
1	1 健康づくりの支援	めざす姿	ソーシャル・キャピタルはまだ一般的に知られた言葉ではない。平易でわかりやすい表現にするか、注釈が必要ではないか。	置き換えられる言葉がないので、「人と人との絆や地域のつながりがもたらす力」と注釈を入れる。	5,6
2	1 健康づくりの支援	めざす姿	「食生活」だけでなく、6次後期計画にあるように生活習慣病の予防、口腔保健、こころの健康づくり、と入れるべきではないのか。	「食生活を含めた健康的な生活習慣」「健康的な生活習慣（食生活、歯と口の健康、こころとからだの健康づくり）」	5
3	1 健康づくりの支援	めざす姿	「地域のソーシャルキャピタルが醸成され」の意味が分からない。市民に通じる日本語にするべき。	1参照。	5,6
4	1 健康づくりの支援	現状と課題	若年者、中年者、高齢者よりも、「子どもから大人」（第6次計画、施策の方向性）の表現の方がよいのではないか。	ライフステージが分かれる表現として、第3次府中市保健計画（第3次健康ふちゅう21）・第3次府中市食育推進計画（以下、「第3次保健計画」）に合わせている。年齢区分（若年者：18～39歳、中年者：40～64歳、高齢者：65歳以上）を追記。	5
5	1 健康づくりの支援	現状と課題	「食品ロス 取組の充実など」までは要らない。	国や都が取り上げているほか、市も第3次保健計画で新たに取り入れ、積極的に取り組むものとして捉えている。	-
6	1 健康づくりの支援	施策の方向性	1行目「検討審査等」とは何か。この検査審査がどう作用し、推進につながるか。	検討審査 健康診査の誤り。	5
7	1 健康づくりの支援	施策の方向性	食の循環への理解とは何か。	国の食育推進計画で使用している言葉で、自然や社会環境との関わりの中で、食料の生産から消費に至る食の循環を意識し、生産者を始めとして多くの関係者により食が支えられていることを理解すること。	-
8	1 健康づくりの支援	施策の方向性	「食文化の継承」はいらない。	国や都の食育推進計画に第1次から取り上げられているほか、市でも和食給食や行事食、食事マナーなど、きめ細やかな取組を行っている。SDGsとの関連も深く、食文化の継承から健康づくりにつながる。	-
9	1 健康づくりの支援	施策の方向性	現状と課題の自殺防止には「専門機関等に確実につなげる」とあるが、ここでは「地域づくり」になっている。整合性がない。難しい相談は地域では受け止められない。	施策の方向性は、地域で発見して、適切な専門機関等につなげるという意味合い。難しい相談を地域で受け止めるのではなく、発見してつなぐのが地域の役割となる。そのためのネットワークの強化・充実に地域づくりも含まれる。	-
10	1 健康づくりの支援	指標	目標値（R7）「減らす」とはどういう意味か。数値目標ではないのか。	国や都も目標値を設定しておらず、基準となるデータがなく目標値の設定が困難なため、喫煙率と欠食率は「減らす」としている。喫煙率の指標名・現状値、欠食率の現状値、歯周病の指標名・現状値・目標値を修正。	5,6
11	1 健康づくりの支援	指標	第6次で掲げた指標はどう評価したのか。今計画への連続性はないのか。	コロナによる影響など社会情勢の大きな変化に伴い、第6次に掲げた指標では、適切に効果を測ることが困難なことから、今回指標を変更した。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料 7 - 4 修正ページ
12	1 健康づくりの支援	施策の方向性	自殺に関する記述があるが、この施策に含めることに違和感を感じる。	こころとからだはセットであり、自殺対策はこころの健康づくりの主要な取組として位置付けている。	-
13	1 健康づくりの支援	指標	「減らす」という目標はではなく、具体的な数値にできないのか。	10参照。	5,6
14	1 健康づくりの支援	主要な取組	文章が長すぎ、また、話題・内容が変わる際には、文章を切ってほしい。6次のような箇条書きがよい。	改行する。	6
15	1 健康づくりの支援	主要な取組	「健康管理支援事業」各種団体の後に「学校等」を入れてもらいたい。	「学校等」を追記。	6
16	1 健康づくりの支援	主要な取組	自殺対応のゲートキーパーが一般に理解されているだろうか。3行目の「人材」の後に（ゲートキーパー）でもよいのでは。	「人材」の後に（ゲートキーパー）を追記。	6
17	1 健康づくりの支援	SDGs	(1)～(17)までの表になっているが、(2)と(3)に をつけている理由がよく分からない。	(2)は健康的な食生活に、(3)は健康づくりに関連する。	-
18	1 健康づくりの支援	協働により推進したい取組	雑駁すぎる。 第6次計画の評価も加え、具体的に掲げるべきではないか。	広く様々な取組を行うためにこの表現としている。	-
19	2 疾病予防対策の充実	施策の方向性	感染予防の啓発では、「感染症を予防する生活習慣」の啓発を重視して記載してよいのでは？ 関係機関との連携については、「（緊急事態宣言等）緊急時にもスムーズな対応を行うための」「保健所・医師会等との」連携というように、今回のコロナ禍における教訓を踏まえた具体的な記述をお願いしたい。	感染症予防の啓発に、生活習慣も含まれるものと捉えている。 関係機関の前に「保健所・医師会等の」を追記。	7
20	2 疾病予防対策の充実	現状と課題	感染症の対策を講じるものに「市」は入らないか。	市も入る。市が関係機関と「ともに」対策を講じていくことが求められている。	-
21	2 疾病予防対策の充実	現状と課題	コロナ感染についての記述が必要。	「新型コロナウイルス感染症をはじめとする～」と記載している。	-
22	2 疾病予防対策の充実	施策の方向性	がん検診と歯科は文章を切る。	がん検診と歯科を2文に分ける。	7
23	2 疾病予防対策の充実	施策の方向性	感染症 連携強化による体制作りにつながる記述が必要ではないか。	19参照。 施策の方向性の3文目は平時から緊急時にも対応できるよう連携強化へのつながりを意識して記載している。	7
24	2 疾病予防対策の充実	主要な取組	新型コロナなど感染症について、施策の方向性までには記述があるが、主要な取り組みには無い（指標にも）	主要な取組に「感染症対策」を、取組内容に「市民生活や地域経済に及ぼす影響が最小となるようにすることを目的として、新型インフルエンザ等特別措置法に基づく、感染拡大防止のための取組を実施します。」を追記。	8
25	2 疾病予防対策の充実	主要な取組	感染症に対するものはないのか。	24参照。	8

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
26	2 疾病予防対策の充実	協働により推進したい取組	具体的に示してください。	広く様々な取組を行うためにこの表現としている。	-
27	3 地域医療体制の整備	めざす姿	在宅療養に関する記述がない。	また、の後に「在宅で療養する方を含め、」を追記。	9
28	3 地域医療体制の整備	現状と課題	文章は切って。	改行する。	9
29	3 地域医療体制の整備	現状と課題	「フェーズ」 日本語に。	「局面・段階」などを意味する言葉であるが、都の災害時医療救護活動ガイドライン等で使用しているため、注釈を加える。	9,10
30	3 地域医療体制の整備	現状と課題	第6次でニーズが高まっているとされている在宅療養の評価と記述は？	「また、高齢化の進展とともに、在宅療養へのニーズが高まっており、環境の整備が求められています。さらに、～」と追記。	9
31	3 地域医療体制の整備	施策の方向性	文章は切って。	他の施策と同等程度の長さ。	-
32	3 地域医療体制の整備	施策の方向性	「在宅療養、医療・介護の連携」は方向性・目的に入るべきものです。	「国や東京都、医師会等と連携しながら、在宅療養の取組を充実させます。」を追記。	9
33	4 地域における子育て支援	その他	子どもの貧困は7人に1人とも言われ、コロナ禍の中、状況はますます悪くなっている。ポストコロナの社会においても解決は難しいのではないかと考えられる。府中市においても例外ではないし、この重大な「子どもの貧困」が落ちているのは、認識不足である。「府中市子どもの未来応援基本方針」の観点を入れるべき。	「子どもの生活実態調査」では、生活や養育に困難を抱える子育て家庭が明らかにされており、子どもの未来応援基本方針に掲げる「地域での寄り添い支援」実現のために、地域の子ども食堂や居場所づくりの促進や更なる見守り体制の充実や施策の推進を図ることを追記しました。	11
34	4 地域における子育て支援	その他	危機感のなさに、危機感を抱きます。	ご意見として参考にさせていただきます。	-
35	4 地域における子育て支援	その他	今は平常時ではなく、同時に時代の転換期であり、ありとあらゆるものを駆使して子ども・子育て支援していくべき時です。	ご意見として参考にさせていただきます。	-
36	4 地域における子育て支援	現状と課題	7行目「子ども食堂を実施している団体～地域でのつながり・子育てネットワークへと広げることが必要です。」 誰がつなげ、広げるのか、市の関わり方は？	子ども食堂等、地域の子育て支援に関わる様々な団体がお互い主体的につながりをもって活動できるよう、市が主催する地域子ども子育て応援連絡会等のネットワークを活用しながら支援していきます。	-
37	4 地域における子育て支援	施策の方向性	「意識の醸成」とは何か？	「意識の醸成」を削除し、「体制の構築及び施策の推進」としました。	11
38	4 地域における子育て支援	主要な取組	孤立化、貧困対策が入っていない。	現状と課題に追記しました。	11
39	4 地域における子育て支援	協働により推進したい取組	地域団体と行政がどう関わっていくかを明確にして欲しい。	地域子ども・子育て応援連絡会や子ども食堂等の活動団体への補助等により、連携をとりながら地域活動を支援していきます。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
40	5 妊娠期から子育て期までの継続的な支援	現状と課題 施策の方向性	第6次総合計画の残された課題として、「母子保健」の中に、望まない妊娠に対する取り組みの充実があり、相談体制や周知広報、学校での積極的な保険計画が論点となっている。母子保健については、第7次総合計画案では、子育て支援と統合されているが、この課題について、取り組む方向性を母子保健の枠組みの中で、出した方が良いと思う。	「現状と課題」に盛り込みます。 「施策の方向性」にはすでに記載済み。	13
41	5 妊娠期から子育て期までの継続的な支援	施策の方向性	1行目「母子保健と子育てに関する支援と1つの場所で」に「子育て世代包括支援センター」と入れた方がよい。	「環境」を「子育て世代包括支援センター」に置き換えます。	13
42	6 ひとり親家庭への支援	その他	この項目（施策？）も認識が甘すぎる。	ご意見として参考にさせていただきます。	-
43	6 ひとり親家庭への支援	その他	ひとり親、特にシングルマザーは、非正規就労が多く、コロナ禍で職を失うなど、状況は過酷である。ポストコロナでも早期の改善は困難であろう。 困窮の中にいる人たちをいかに救うかが課題	ご意見として参考にさせていただきます。	-
44	6 ひとり親家庭への支援	めざす姿	ひとり親家庭は、余裕がなく、情報を入手することもできない場合もある。	ご意見として参考にさせていただきます。	-
45	6 ひとり親家庭への支援	めざす姿	就労支援が前面に出てくるのは、違和感がある。	ご意見として参考にさせていただきます。	-
46	6 ひとり親家庭への支援	めざす姿	「必要なサービス等を選択・活用しながら」必要なサービスをどう届けるかが問題。相談体制・各種支援をどう届けるかが、方向性の中にあるべきではないか。 例えば、今年3月にひとり親支援のリーフレットを担当課が作成した 情報がまとまっている。支援のアウトリーチが必要である。	ひとり親手当ての申請や現況届の際、ひとり親家庭に特化した情報誌「ひとり親応援ブック」を配布し、相談体制や支援制度の周知に加えFPやキャリアコンサルタントによる専門的な相談やセミナーの案内を行っています。また、ひとり親の就労や実情に合わせて、来庁しなくても相談できるようオンラインでの相談支援体制も構築しました。	15
47	7 教育・保育サービスの充実	その他	三多摩地域最悪と言われた待機児は、市の施策の推進により数字的には解消した。これからは更に保育の質に注力していくことが必要であろう。子どもの成長に何が必要かを示すべき。	子どもの成長には、子どもの個性に応じたきめ細かな教育・保育サービスが提供されることが必要であることを示すため、「めざす姿（施策の目的）」に、文言を追加しました。	17
48	7 教育・保育サービスの充実	その他	特別支援が必要な子ども、医療的ケア児への対応を示すべき。	医療的ケアが必要な児童への対応が求められていることを示すため、「現状と課題」に例示として、文言を追加しました。また、「施策の方向性」において、原案にあった「発達の遅れになどにより」を削除することにより、「現状と課題」に例示を追加した「医療的ケアが必要な児童」も、本市が個別ニーズに対応する「特別な支援が必要な児童等」に含まれる形としました。	17

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料 7 - 4 修正ページ
49	7 教育・保育サービスの充実	その他	学童保育は、後のページの放課後の居場所のところにはあるが、この項目では不要なのか。子ども・子育て支援の充実は、いわゆる子ども全体のものと思うが、就学前の子供に絞るのであれば工夫が必要ではないか。	施策番号7は、就学前の児童を対象とした「教育・保育サービスの充実を図ることをめざすものであるため、学童保育を加えることは難しいものと考えます。	-
50	8 高齢者がいきいきするための支援	めざす姿	「働く意欲がある」とはどういう意味か。	働くことで、「人の役に立ちたい」、「達成感や満足感を得たい」と考える内発的な動機や「生活のために報酬を得たい」と考える外発的な動機などにより就労したいと思う気持ちがあることを想定しています。	-
51	8 高齢者がいきいきするための支援	現状と課題	高齢者の中には、健康で活動的な人もいる。実際にその方々が地域を支えているのが現状。これをどのように促進していくのかを具体的に示して欲しい。	主な具体的な取組としては、府中市勤労者福祉振興公社やシルバー人材センターへの支援を通じ、希望する高齢者の就労へとつなげるほか、シニアクラブが行う社会奉仕活動・文化活動・健康増進活動に対して補助を行い、高齢者の社会参加を促進するとともに、地域での支え合いを支援します。 また、介護予防推進センターについて、介護予防の講座や教室を充実させるとともに、地域包括支援センターにつないでいく介護予防の拠点としての役割も強化し、高齢者が住み慣れた地域で自立し、健康で暮らし続けられるよう支援します。	-
52	8 高齢者がいきいきするための支援	施策の方向性	「府中市勤労者福祉公社やシルバー人材センターを支援し」とあるが、「補助」ではないのか。まぎらわしい。  (事務局追記) 主要な取組にも同じ表現あり。	団体の運営や事業を推進するための補助金のような財政的な支援のほか広報による周知協力などの「補助」に限定されない「支援」を想定しています。	-
53	9 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための支援	その他	『地域包括ケアシステムの構築』など、地域包括ケアシステムを前面に出したほうがよい。現在の施策名では、漠然としすぎている。(2020年第1回定例会の一般質問でも、「2025年までの地域包括ケアシステム構築」を目標とすることが、答弁されている)。	地域包括ケアシステムに係る記載については、現在の施策では「手助けを必要とする高齢者が安心して暮らせるよう、地域における支え合いの輪を広げるとともに、支援活動そのものを社会参加と捉え、支援に携わる方々の生きがいにも繋がります。また市内11か所ある地域包括支援センターを中心としたネットワーク機能を強化し、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。」と記載し、具体的なシステムの構築の方向性を示し、その推進を図るとしてあります。議会要望を踏まえ「地域包括ケアシステム」について、深化と推進を図るといたしましたが、「施策名」については、「構築」といった具体的な取組の階層ではなく、他の施策との整合性を図り「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための支援」といった基本施策を成就するための手段としての階層として表現・記載してあります。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料 7 - 4 修正ページ	
54	9	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための支援	その他	災害時に関する記述がない。	災害時に関しては、特定の世代や性別・国籍といった施策の主要な取組全てに記載するのではなく、社会的に弱い立場の市民はもちろん、全市民が安心して暮らすために必要事柄であると考えております。	-
55	9	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための支援	施策の方向性	地域包括 医療・介護の連携 認知症 地域の支え合い の順がよいのでは。	当該施策は高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための支援であり、現状の順番である市民協働による地域の支え合いから地域包括支援センターを中心とした施策の推進や、認知症支援についても同じく協働による地域共生社会の実現といった既存の順番が時系列としては分かりやすいと考えました。しかしながら、記載の順番は、時系列や施策の重要性とは関係なく、審議会における意見を踏まえ、市民意見を尊重したより分かりやすい順番に変更いたします。	19
56	10	障害者の社会参加の推進	指標	障害者の社会参加促進の指標が、「障害者地域交流促進事業参加者数」であることに違和感。そもそも障害者の中には、障害の種類や体調等のためにイベント等の参加が困難な方も少なくない。指標として不適切で、見直し削除が妥当。	指標に記載されている事業の目的としては、障害のある人と地域の人との交流の機会を設けることだけでなく、障害そのものや障害のある人への理解促進を目的とした啓発事業としての位置付けであることから、障害者の社会参加推進に関する指標として適切ととらえております。	-
57	10	障害者の社会参加の推進	その他	障害をどのようにとらえているのか、はなはだ疑問がある。	障害者基本法における「障害者」の定義でとらえ、「障害の社会モデル」の考え方を踏まえております。	-
58	10	障害者の社会参加の推進	その他	障害の社会モデルを基に考えるべき。そのうえで合理的な配慮とは何か、共生社会をどう作っていくかを考えるべき。その際の重要なポイントは、当事者参加である。	ご意見として参考にさせていただき、当事者の参加を促進して参ります。	-
59	10	障害者の社会参加の推進	現状と課題 施策の方向性	「ノーマライゼーション」という言葉は使わない。	「ノーマライゼーション」とは、国の障害者基本計画において定義されている「障害者を特別視するのではなく、一般社会の中で普通の生活を送れるような条件を整えるべきであり、共に生きる社会こそノーマルな社会であるとの考え方」という認識でとらえております。	-
60	11	障害者差別の解消と相談支援機能の充実	めざす姿	差別解消条例を目指すべきではなかろうか。	国や都、他自治体の動向を注視して参ります。	-
61	11	障害者差別の解消と相談支援機能の充実	主要な取組	「障害がある人が望む合理的配慮の提供」とは？合理的な配慮とは何かの精査が必要。 「障害者・事業者双方に対する専門相談体制や第三者機関による紛争解決手続の整備」が必要であろう。 上記は東京都の長期戦略の中の一項目。	合理的配慮とは障害特性や具体的な場面等で異なる個性が高いものと認識しています。 東京都において広域的に実施している戦略に沿い、本市としての役割を検討して参ります。	-
62	11	障害者差別の解消と相談支援機能の充実	主要な取組	「建設的な対話」ではない。	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」から引用しております。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ	
63	11	障害者差別の解消と相談支援機能の充実	主要な取組	発達障害への言及がない。(発達障害は子どもだけではない)	本項目において、発達障害に限らず全ての障害種別や難病等を想定しています。	-
64	12	障害者の地域生活支援	現状と課題	制度についていかに知らせていくかが課題。	施策11で掲げている相談支援機能の充実を図ることにより、各種制度の周知が効果的に行えるよう目指します。	-
65	12	障害者の地域生活支援	指標	グループホームの目標値を入れるのはいかがか。	グループホーム含む居住系サービスの見込量については、障害福祉計画(第6期)において定めておりますので、分野計画の中で見込量確保に向けた方策等を検討して参ります。	-
66	13	障害児への支援の充実	その他	子ども発達支援センターが未就学児のみであるのは、非常に残念である。	令和6年4月開所予定の児童発達支援センターでは0歳から18歳までの児童に対する支援を行います。	-
67	13	障害児への支援の充実	その他	相談体制の充実 福祉・教育の場で必要であり、この連携がないと成り立たない。	ご意見として参考にさせていただきます。	-
68	13	障害児への支援の充実	その他	障害のある児童の捉え方が狭い。通所・入所の児童もいるが、就学の児童もおり、その形態も様々である。	当施策では、あらゆる障害のある全ての児童を対象としており、障害の状況に応じた切れ目のない支援体制の整備と充実を図ってまいります。	-
69	13	障害児への支援の充実	協働により推進したい取組	学校においても「ちゅうファイル」を使う方向とのことであるので、整理が必要。	「ちゅうファイル」の活用については、今後府中市障害者等地域自立支援協議会と協働し、活用方法等含め検討を進めて参ります。	-
70	13	障害児への支援の充実	その他	法律の制定もあり、より一層、医療的ケア児への対応が求められる。幼稚園・保育所・学校等での医療的ケア児の対応をいかに進めるかは、これからの課題である。これを押しすすめる姿勢が必要ではないか。	新たに制定される医療的ケア児支援法の趣旨を踏まえ、保健・医療・障害福祉・保育・教育などの関係機関と連携を図り、地域課題に対応していくよう努めます。	-
71	14	高齢者医療制度の普及と推進	その他	市民の責務が強調されすぎるきらいがある。	皆保険制度であることから、被保険者と保険者の双方の責務について記載しております。つきましては、このままの内容で進めたいと考えておりますので、ご理解くださいようお願いいたします。	-
72	15	国民健康保険の運営	その他	市民の責務が強調されすぎるきらいがある。	皆保険制度として、被保険者の責務と保険者の責務の双方を記載する必要があると考えています。26市における本市の保険税率は、下位にある一方で一人当たりの一般会計からの繰入金、いわゆる赤字補填額は、上位にあるなど、税率の見直しは、喫緊の課題です。被保険者の方のご理解を得られるようにするためにも、このままの内容で進めたいと考えておりますので、ご理解くださいようお願いいたします。	-
73	15	国民健康保険の運営	現状と課題	「財政健全化」は国から財政支援を要請し国費を増やしてもらわなければ、加入者の保険税だけでは非常に高額な国保税になり、国保制度そのものが破たんする。保険税を払えなくなる人が多くなり徴収率向上ではなく、納税率低下の方向性に進んでしまうのではないか。	26市における本市の保険税率は、下位にある一方で一人当たりの一般会計からの繰入金、いわゆる赤字補填額は、上位にあるなど、税率の見直しは、喫緊の課題です。被保険者の方のご理解を得られるようにするためにも、このままの内容で進めたいと考えておりますので、ご理解くださいようお願いいたします。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
74	16 国民年金の普及	その他	市民の責務が強調されすぎるきらいがある。	20歳以上の方が必ず加入しなければならない制度であることから、被保険者と保険者の双方の責務について記載しております。つきましては、このままの内容で進めたいと考えておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。	-
75	17 介護保険制度の円滑な運営	その他	介護保険は「介護は社会で」の概念で始まったものではあるが、利用に当たり非常にわかりづらい。この部分が市民にとっては大切である。	施策の方向性の給付適正化に係る記載に「介護の必要な方に適正なサービスが提供できるように」を追加する。	35
76	17 介護保険制度の円滑な運営	その他	制度の円滑な運営は分かるが、行政側の都合ばかりの記述では困る。何のための介護保険なのかを記すべき。	施策の方向性の給付適正化に係る記載に「介護の必要な方に適正なサービスが提供できるように」を追加する。	35
77	18 低所得者の自立支援	施策の方向性	書きぶりに、問題に対応しようとする市の積極的姿勢が欲しい。記述を、以下のように変更されたいかがか。 「断らない相談窓口」について周知を図る... 「断らない相談窓口」を徹底する... 地域の関係機関との連携により... 地域の関係機関や困窮問題に取り組む団体との連携により...	「断らない相談窓口」について徹底するとともに「地域の関係機関・団体との連携により」に変更	37
78	18 低所得者の自立支援	施策の方向性	「現状と課題」に、「社会的に孤立した困窮状態にある方をいかに把握し早期に支援につなげていくかが課題」とあり、施策の方向性には「地域の関係機関との協働により支援につなげる」とあるが、市民検討会議の報告書の「今後予想される新たなニーズ・課題」に、いつでもどこでも相談できる相談窓口の工夫と、身近な相談の場の確保があげられていることから、そのような内容を施策の方向性に入れた方がよいと思う。	「地域の関係団体との協働により、」を「地域の関係機関や関係団体との連携により、」に修正	37
79	18 低所得者の自立支援	その他	生活保護についての言及がない。生活保護は最後のセーフティネットである。	「施策の方向性」に生活保護に係る記述を追加。	37
80	18 低所得者の自立支援	現状と課題	3行目「生活保護を受給する手前の段階で」はいらぬい。	当該箇所を削除。	37
81	18 低所得者の自立支援	現状と課題	就労もそうだが、各々の孤立化を防ぐ生活支援が不可欠である。	「施策の方向性」に生活環境の整備に係る記述を追加。	37
82	18 低所得者の自立支援	現状と課題	野宿者への対応は、市民団体が担っている場合が多い。	ご意見として参考にさせていただきます。	-
83	19 住宅セーフティネット制度の推進	現状と課題	将来的に人口が減少する見込みが、公的住宅を増やせない理由にはならないと考える。	国の見解に基づく表現ではありますが、疑義を生じることのないよう、該当部分を削除します。	39
84	19 住宅セーフティネット制度の推進	その他	データとして市営住宅の戸数を入れて欲しい。	計画全体のレイアウトに沿うものであれば、掲載することは可能です。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ	
85	20	つながり支え合う地域づくり	施策の方向性	「現状と課題」の中に、「地域の多様な活動主体が参画する支え合いの仕組みづくりを行い」とある。施策の方向性には「団体等が連携しながら、主体的に地域生活課題を解決する体制を構築する」とあるが、表現が抽象的。市民検討会議の報告書では、残された課題として、「救い上げられない情報が身近なところがあり、より小さなコミュニティの支援活動拠点が必要」とある。施策全体を通して、社会福祉協議会の活動がクローズアップされているが、その活動と連携する多様な市民団体の出番も必要であることを分かりやすく表現した方が良いと思う。	地域の多様な主体と、市と社会福祉協議会及び地域福祉コーディネーターの関係性を明確にしたうえで、「施策の方向性」がより具体的になるよう、記載内容を変更しております。	41
86	21	安心して生活できる福祉環境の整備	現状と課題	4行目「いわゆる」はいらぬ。	「いわゆる」を削除します。	43
87	21	安心して生活できる福祉環境の整備	施策の方向性	1番目はハード面でのバリアフリー、ユニバーサルデザインのことだろうか。	ソフト面とハード面の両方を指しております。	-
88	21	安心して生活できる福祉環境の整備	施策の方向性	府中市の現状を精査すべき。着工前の協議・指導をしているのだけれど、バリアフルな街のままである。	既存建築物につきましては、法及び条例施行前の建築物があるため、バリアフリーとなっていない施設があります。そのような施設は、改築や用途変更の際に現行の法及び条例に適合するよう協議・指導しております。また、ハード面だけでなく、ソフト面の強化することにより、安全・安心で暮らしやすいまちを実現します。	-
89	21	安心して生活できる福祉環境の整備	施策の方向性	市民協働で作成された「バリアフリーマップ」を基にした活動、さらなる推進も視野に入れておいて欲しい。	さらなるバリアフリーの推進に向けて、関係団体にバリアフリーマップに関するアンケートを実施しております。また、「バリアフリーマップ」作成の際に行ったまち歩き等について、現在、今後の実施に向けて検討しております。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料 7 - 4 修正ページ
90	22 自然・生態系の保護と回復	その他	「自然共生社会」の概念を入れるべき。	「めざす姿」に「自然共生社会」の概念を加える。	45
91	23 公園緑地等の活用促進	施策の方向性	記述が公園に偏っている。公園施設の整備だけでなく、(公園以外の)緑の保全・整備、緑地の確保等を加えたほうが良い	施策 2 2 「生物多様性の保護と回復」で、自然環境についての言及があります。	-
92	23 公園緑地等の活用促進	現状と課題	「府中市緑の基本計画2020」では、「緑の中核的な拠点」とされた5拠点のうち3つが、市内の都立公園周辺となっている(北から南に武蔵野・浅間山・府中の森)。つまり、野川と多摩川をつなぐ唯一の緑の軸線は、都立公園の連なりによって維持されており、ここがひとつでも欠けてしまうと、「緑のネットワーク」が切断されることになる。そのため、「東京都と連携した都立公園及び周辺での緑の保全」も、課題に含めるべき。	施策の方向性の、「市民や事業者との協働による・・・」の部分で、「市民や事業者など様々な主体との協働による・・・」に加筆します。	47
93	23 公園緑地等の活用促進	その他	コロナ禍の中、公園に集う人は増え、今までと公園のあり方、存在意義が変わってきたのではないだろうか。	公園を利用する方のニーズは多様化していると捉えており、多様なニーズへの対応が必要になると考えております。	-
94	23 公園緑地等の活用促進	その他	公園に対する期待と同時に課題もあるのではないかと。再整備等は必要か。	公園における機能の充実化を踏まえた整備を推進します。	-
95	23 公園緑地等の活用促進	その他	府中の森公園は都立であるが、インクルーシブ公園へと生まれ変わろうとしている。このようなインクルーシブの取組を市はどう考えているか。	インクルーシブの取り組みも含め、公園における機能の充実化に取り組む必要があると考えております。	-
96	23 公園緑地等の活用促進	その他	市の価値を高める公園のあり方とは何か、をお示しいただきたい。 また、公園を官民連携で維持管理するとあるが、市民参加は図られるのだろうか。	協働による公園の管理運営を進めることや観光資源を生かすことが価値を高めることにつながると考えております。 市民参加も含めた市民や事業者との協働による公園の管理運営を展開することは施策の方向性でも示しておりますので、市民参加が図られるよう進める必要があると捉えております。	-
97	23 公園緑地等の活用促進	施策の方向性	「緑育」とは何かをお示しいただきたい。	人と緑の間には「生かし」「生かされる」、「育て」「育てられる」という密接な関係があり、こうした人と緑の関係のことを呼ぶ造語です。緑の基本計画2020において規定されています。	-
98	23 公園緑地等の活用促進	その他	「水と緑のネットワーク」を見すえた考えをお示しいただきたい。	緑の拠点としての機能を高め、水と緑の軸を保全することで、水と緑のネットワーク化を進めることとしております。	-
99	24 環境に配慮した活動の促進	施策の方向性	下から2行目「レジリエンス機能」という用語について、日本語表記に。	「レジリエンス機能」を「強靱化機能」に修正します。	49
100	24 環境に配慮した活動の促進	めざす姿	「市民・事業者・行政」の順を統一する必要がある。59ページでは「事業者・市民・市」である。正しいのは、「事業者・市民・行政」だと思う。	事務局が記載。 文章・用語表現は全体的に調整する予定。 「複数の主体を表記する場合は、市民 地域 団体 事業者 市 都 国の順で記載し、間を「・」でつなぐ。」	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
101	24 環境に配慮した活動の促進	めざす姿	「温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロとすることを目指し」の前に「2050年までに」を追記すべきである。	追記します。	49
102	24 環境に配慮した活動の促進	その他	施策名にエッジが効いておらず、市の姿勢が後ろ向きに見える。『環境パートナーシップに基づく環境配慮の実践』など、環境パートナーシップを前面に出した方がよく、「現状と課題」の欄でも、環境パートナーシップの構築を課題としており、記述の変更に矛盾はないはず)。	環境に配慮した活動の推進には、市民・事業者・行政のパートナーシップは重要であることは認識しておりますが、パートナーシップのみ強調してしまうと、カーボンニュートラルへ向けた機運が薄れてしまうと考えます。様々な環境課題の解決に向けては、現施策名の「環境に配慮した活動の推進」が最もふさわしいと考えます。	-
103	24 環境に配慮した活動の促進	その他	温室効果ガスの排出を実質ゼロにする目標年度は？この前期計画の中か？国・都と同様か？	温室効果ガスの削減については国や都の方針に準拠するものと考えますので、現時点では2050年が目標年度と認識しております。具体的なロードマップは今後示されると聞いております。	-
104	24 環境に配慮した活動の促進	その他	「府中市地球温暖化対策推進計画」との整合性は？	今年度から次期環境基本計画の策定作業を進めていますが、この中に地球温暖化対策地域推進計画を内包します。詳細については今後国や都に示される方針に従い、環境審議会で審議してまいります。	-
105	24 環境に配慮した活動の促進	その他	エネルギーとして再生可能エネルギー自立分散型エネルギーとあるが、他エネルギーをどう考えているのか。この2つのみの記述で縛られないのか？	カーボンニュートラルに向けては、再生可能エネルギー、及び自立分散型エネルギーの普及が重要と捉えておりますが、その他のエネルギーにも対応できるよう、「再生可能エネルギー、自立分散型エネルギーをはじめとしたクリーンエネルギーの利用促進」に修正します。	-
106	24 環境に配慮した活動の促進	指標	Co2排出量の目標値「減少」とはどのような意味か。数値目標ではないのか？	CO2排出量の目標については、国や都の方針を見定めながら、今年度から進めている地球温暖化対策地域推進計画策定作業において審議して決めたいと考えております。このため、具体的数値は入れず、「減少」としております。	-
107	24 環境に配慮した活動の促進	指標	改築される小中学校への太陽光発電設置の100%はいつ達成になるのか。必要とするエネルギー量の何パーセントをまかなえるのか。	本指標は、改築する学校には全て太陽光発電を導入することを目的としており、改築は主管課の計画に基づいて実施されます。そのため、全市立小中学校への設置は未定で、エネルギー量も未定です。	-
108	25 まちの環境美化の推進	施策の方向性	活動面と維持管理面での言及はあっても、制度面での言及がない。以下のような追加が欲しい 現状を検証のうえ、効果的なまち美化を推進する制度の充実	ご指摘の文言を追加しました。	51
109	27 斎場・墓地の管理運営	めざす姿	文中に「安定的」「効率的」という単語が各2回使われているが、簡素化して欲しい。	斎場と墓地は別事業のため、一つにまとめられません。また、「安定的」かつ「効率的」な事業運営は、両施設の本質的な考え方であるため、別の文言による表現は難しい状況です。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
110	27 斎場・墓地の管理運営	施策の方向性	「安定的」が2回使用されている。同じ言葉の使用は1度に。	斎場と墓地は別事業のため、一つにまとめられません。また、「安定的」かつ「効率的」な事業運営は、両施設の本質的な考え方であるため、別の文言による表現は難しい状況です。	-
111	27 斎場・墓地の管理運営	主要な取組	「安定的かつ効率的」が両取り組みに出てくる。単独で「安定的」も使用されており、くどい。	表現を見直しました。	54
112	27 斎場・墓地の管理運営	指標	「斎場平均待ち日数」の現状値「2.9日」は確かか。	利用者の希望により、式場に最短で空き（友引日等）があっても、最短で空いている日より先の日を利用した場合は、待ち日数は0日としてカウントしているため、実際の待ち日数よりも計算上の平均待ち日数は短くなっている。	-
113	28 ごみの発生抑制・循環的な利用の促進	めざす姿	「市民・事業者・市」とあるが、「事業者・市民・行政」が正しいのではないか。「市」「行政」	事務局が記載。 文章・用語表現は全体的に調整する予定。 「市：府中市役所 行政：府中市役所以外の行政機関を含める場合 府中市：市域を示す場合」	-
114	28 ごみの発生抑制・循環的な利用の促進	施策の方向性	2番目の文末に下線部分を追記しては。 「・・・利用につなげる取組を市民とともに進めます。」	めざす姿に記載のとおり、当該目的を達成するためには、市民・事業者・行政が一体になることが重要であると捉えていることから、取組みのすべてを市民とともに行うことを前提としている。このことから現行のように表現したい。	-
115	28 ごみの発生抑制・循環的な利用の促進	その他	施策名にエッジが効いておらず、市の姿勢が後ろ向きに見える。『3Rの推進』と端的にあらわしたほうが良い。	循環型社会形成推進基本法では、処理の優先順位が法定化されている。まずは発生抑制が求められる姿勢を説明するためにも、3Rの中身をより明確にして、現行のように表現したい。	-
116	28 ごみの発生抑制・循環的な利用の促進	現状と課題	リサイクルのための海外輸出が難しくなっている問題や、後段の施策に記述は出てくるが、ここでもプラスチックごみ削減の問題などには触れるべきではないか。（社会情勢の変化の具体例として）	資源物の海外輸出の件については、社会情勢の変化の具体例として追記し、プラスチックごみについては、新法成立を踏まえ、施策29「継続的・安定的なごみの適正処理の確保」の現状と課題に追記する。	55
117	28 ごみの発生抑制・循環的な利用の促進	施策の方向性	「分別の徹底」に触れるべき。	分別の徹底について、施策の方向性に追記する。	55
118	28 ごみの発生抑制・循環的な利用の促進	施策の方向性 主要な取組	生ごみの家庭内処理の促進（処理機）_具体的過ぎるか？	処理機の普及促進については、ごみ減量運動啓発事業の具体的な内容であると考えている。また、処理機補助金事業は当該施策を構成する事務事業ではあると捉えている。	-
119	30 交通安全の推進	現状と課題	生活道路では、自転車と「ひと」「くるま」「自転車同士」の接触ないし接触未遂を懸念する声を聞く。この点を加えるべきではないか。	自転車に関する課題提起の表現として、「本市で発生した交通事故のうち、約4割が関与している自転車への対応など」という表記を追加しました。	59
120	30 交通安全の推進	施策の方向性	「交通に関するルールやマナー」では、自転車を意識した書き振りを採用すべき。	自転車に関する記載は課題の部分に追加しますが、全体的な方向性としては自転車に特化せず、すべての交通に対する意識向上が必要だと考えています。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
121	32 危機管理対策の強化	施策の方向性	地球温暖化によるパンデミック（感染爆発、自然災害の被害）が甚大である。 地球温暖化を緩和するため、国が掲げているように「脱炭素化の対策」を考えるの追記が必要ではないか。	環境政策課に確認の上、事務局が記載。 施策24に脱炭素化の考えとして、温室効果ガスの排出をゼロとすることを目指すことと記載している。	-
122	32 危機管理対策の強化	施策の方向性	災害時要援護者や災害弱者対応の充実について、触れるべきではないか	要配慮者に関する記述を追記する。	61
123	32 危機管理対策の強化	めざす姿	「緊急事態における知識等」が先では？	「緊急事態における知識」を先に記載する。	61
124	32 危機管理対策の強化	その他	危機管理体制は、自助、共助のみでは成り立たない。 公助はどうなっているのか、お示しいただきたい。	公助の取組として、防災意識の啓発、備蓄品等の資機材の整備、各種訓練による災害対応力の強化、受援応援計画及び風水害時における事業継続計画の策定などを進めている。 「主要な取組」等で公助の取組についても記載があるため、追記はしない。	-
125	32 危機管理対策の強化	協働により推進したい取組	「訓練活動の充実」「訓練活動への支援」といった点にも言及されて良い。	「防災対策における自助、共助の取組の強化」に含まれているため。	-
126	33 消防力の充実	現状と課題	家庭用火災報知器の記載がないが、まだ普及は充分ではないので、追記が必要。	住宅用火災警報器については、消防法で全国一律で設置が義務付けられているものであり、市の総合計画への記載はなじまないため。	-
127	33 消防力の充実	施策の方向性	家庭用火災報知器について、「引き続き、火災防止対策として、設置・交換を推進します。」と追記が必要。	126の理由から、現状と課題に記載はしないため、施策の方向性としても記載は行わないが、住宅用火災警報器設置の義務化についての広報は今後も実施していく。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
128	35 人権意識の醸成	施策の方向性	市民検討会議の報告書には、残された課題として、DVについての相談をできない人が多いこと、見直しの論点では、相談しやすい環境を作ることが必要であるとある。「相談しやすい環境づくり」という具体的なワードを入れた方が良くと思う。	「相談しやすい環境づくり」の文言を追記します。	65
129	35 人権意識の醸成	その他	人権意識と共にあるのは、絶対的な「差別禁止」だと思います。差別に関する記述が欲しいところです。	「めざす姿」に「差別や偏見のない」の文言を追記します。	65
130	35 人権意識の醸成	主要な取組	「人権啓発」と「女性人権推進」2つしか取組があげられていないが、LGBTや障害者など、取組を増やす必要があるのではないか。	LGBT等の多種多様化した人権問題については、既存の人権啓発事業等で取り組みます。なお、障害者につきましては、「施策11 障害者差別の解消と相談支援機能の充実」において取り組みます。	-
131	36 平和意識の啓発	施策の方向性	具体的な方法として、掩体壕など、見て学ぶことのできる戦跡を活用することが、府中市の特徴を活かす方法ではないか。	市民が平和を身近に捉えていただけるよう施策の方向性に「掩体壕など地域の戦跡を活用し」を追記した。	67
132	37 男女共同参画の推進	施策の方向性	意識啓発だけでなく、「環境づくり」が大切ではないか。府中駅など利便性の高い保育園の拡充や、学童保育の充実などは、どこか他の項目にかかげられているでしょうか。	事務局が記載。 保護者の多様なニーズに対応するための取組について、施策4、7（保育）や施策52（学童クラブ）に記載しているほか、子ども・子育て支援計画により具体的に記載している。	-
133	37 男女共同参画の推進	施策の方向性	市民検討会議の報告書には、残された課題として、「意識の改善が図られているが、実際との乖離があり、行動に移すための具体的な手法が必要」とある。また、見直しの論点では、女性活躍推進計画に基づき、女性の様々な就労ニーズに応える魅力的な就労環境をつくるための意識調査や啓発事業の取り組みや情報発信を行うとある。施策の方向性には、講座の実施と意識啓発となっているが、もう少し具体的に掲載し、誰に向けての講座、意識啓発なのかを明確にした方が良くと思う。	各講座の対象者は講座ごとに異なるため、本計画において詳細に記載することは困難です。ご意見につきましては、第6次府中市男女共同参画計画に基づく、講座などを開催する中で、反映させてまいります。	-
134	37 男女共同参画の推進	その他	男女共同参画に関しては、内閣府の第5次男女共同参画推進計画を参考にいただきたい。 ・審議会等への女性の参画促進 ・市役所の人事の女性管理職登用 ・DV防止とDVサバイバーへの支援	審議会及び女性管理職登用割合については、既に第6次府中市男女共同参画計画に記載されており、全75事業として上位計画となる本計画に記載することはそぐわないと考えております。 また、DV防止等については「施策35 人権意識の醸成」においての内容となりますので、本施策の対象外となります。	-
135	37 男女共同参画の推進	指標	性別役割分担意識にとらわれない人 目標値50パーセントは低すぎる。 ジェンダーの考え方を入れていただきたい。	性別役割分担意識にとらわれない人の割合（現状）を変えるには、自身の考えだけでなく、家庭や職場などの身近における様々な環境さらには、社会情勢の変化が必要であり、時間がかかるものと考えております。また、ジェンダーの考え方については「性別役割分担意識」「性別に関わらず」などの言葉を用いて表現しております。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
136	38 都市間交流の促進	施策の方向性	姉妹都市や友好都市を、今後増やしてゆく方向性はないのか。	交流による相互理解や地域の活性化を目的としており、交流相手の数を増やすこと自体は目的とは捉えていません。	-
137	39 多文化共生の推進	現状と課題	市内には東京外大・農工大の2大学があり、農工大を中心に多数の外国人留学生及びその家族が在住・在学している。この皆さんへの支援（就労・住居等）は府中市への親近感を増し、またこの皆さんとの交流は府中市の財産ともなる。この観点から、外国人留学生及びその家族との交流及び留学生支援も、現状認識において触れるべき。	広く外国人市民向けの支援の対象に留学生も含まれます。留学生も年齢、家族構成などが様々であり、他の外国人市民と同様に幅広い支援が必要です。留学生に特化した支援については大学が行っているものもあり、引き続き大学等とも連携して支援を行っていきます。	-
138	39 多文化共生の推進	施策の方向性	上記を踏まえ、「外国人留学生及び家族との交流」や「外国人留学生支援」の推進も、加えるべき	同上	-
139	39 多文化共生の推進	施策の方向性	「わかりやすい情報提供」「多言語を含む」	意見のとおり「多言語を含むわかりやすい情報提供」に修正します。	69
140	39 多文化共生の推進	施策の方向性	「市民意識の醸成」何についての醸成か？	「多文化共生に対する市民意識の醸成」に修正します。	69
141	39 多文化共生の推進	施策の方向性	「市民全体での協働」「市全体で」	意見のとおり「市全体で」に修正します。	69
142	39 多文化共生の推進	主要な取組	常々思っていますが、市が市民とともに作り発行した種々の「やさしい日本語」のパンフレットは、一つも外国籍の方にはやさしくありません。文化、生活様式が違う方々への情報伝達のあり方を再考すべきです。	やさしい日本語は情報提供のひとつのツールとして国・都も普及を推進しており、市においても外国人に伝わりやすい日本語の表現等を研究し、多言語での情報提供と併せて活用を図ります。	-
143	40 地域コミュニティの活性化支援	その他	地域コミュニティ＝自治会ではありません。いつまでもこの構図にとらわれていると、新しい展開はないです。新たな展開とは何か、誰を対象にするのかを考えなくてはならない時です。	本計画を進めていく中で、自治会だけではなく、様々な市民団体、NPO、企業等と連携し、福祉・防災はじめとする喫緊の課題を解決していくための地域コミュニティの醸成を検討してまいりたいと考えております。	-
144	40 地域コミュニティの活性化支援	主要な取組	自治会、文化センターについては、現在の機能、役割がよく分からない方も多いと思う。ついては、その機能や役割をもっと広く知らしめる取組をしていくことが、加入率や事業参加率を増やすことにつながるのではないかと。	自治会についてはリーフレットやハンドブックを活用し、継続した周知を図っております。また、文化センターにつきましても、広報ふちゅうをはじめとし、様々な手段で業務や事業等の引き続きの周知に努めてまいります。	-
145	40 地域コミュニティの活性化支援	指標	地域コミュニティの活性化をめざしているにもかかわらず、目標値が「現状維持」というのは違和感がある。異なる指標を考えた方がいいのではないかと。	文化センターでの行事参加者数や自治会加入世帯数は近年減少傾向にあります。まずは現状維持を目標とし、その後上昇に転じるよう進めてまいりたいと考えております。	-
146	41 学習機会の提供と環境づくりの推進	現状と課題	生涯学習の場は、生涯学習センターだけではない。とくに、複合施設と位置づけられた「文化センター」には、公民館機能も含まれており、「文化センターにおける公民館機能の活用」も、課題として記述すべき。	現状と課題及び主要な取組について「文化センターにおける公民館機能の活用」を追記した。	71

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
147	41 学習機会の提供と環境づくりの推進	施策の方向性	「社会教育環境の充実」として列挙されている例の中に、「文化センターの公民館機能の活用」も加える。	施策の方向性及び主要な取組について「地域の文化センターにおける公民館の活用」の文言を追記した。	71
148	41 学習機会の提供と環境づくりの推進	指標	現状（またはR1）と目標値との数値に整合性がないのではないかと。サポーターの数値を下げようとしていることがよく理解できない。学習機会の提供に関して、異なる指標を提示した方がいいのではないかと。たとえば、講座数、講座参加者数など。	指標について、生涯学習サポーター登録者数の目標値を引き上げ、生涯学習センターの講座への受講者数を追記した。	72
149	42 図書館サービスの充実	指標	電子書籍の導入などを施策の方向性で打ち出しているため、それが反映できる指標をたてた方がいいのではないかと。	電子書籍の導入は、時代に沿った新たな読書形態の提供になりますが、配信データの提供期間に制限が設けられているものがあることや、実用書や雑誌など電子書籍のメリットを生かした提供の範囲となることから、従前の指標と比較ができるように、電子書籍を含む図書館全体の貸出数を指標として検討する。	-
150	43 市民の文化・芸術活動の支援	施策の方向性	既存の文化・芸術団体への支援という視点だけでなく、「新たな文化・芸術活動の振興」も、施策の方向性に加えるべき	新たな文化・芸術活動の振興という視点を加えるために、施策の方向性について「多様な文化・芸術活動の振興に寄与するイベント等」という表現に修正した。	75
151	44 文化施設の有効活用	主要な取組	芸術劇場の維持、改修については、コスト的な検討で吟味を加える必要があると思う。（他の公共施設と同様の観点から）	コスト的な検討で吟味を加えるために、「公共施設マネジメント推進プランに基づき」を追記する。	78
152	45 歴史文化遺産の保存と活用	施策の方向性	「にぎわいと魅力あるまちづくり」につながるように、府中市に遺された歴史文化遺産を活用すると謳うとき、国府や埋蔵文化財だけが念頭におかれているように見える。甲州街道や府中宿、けやき並木、多摩川の景観、今日まで生きる用水、古い集落景観（四ツ谷地区）、川崎平右衛門の墓など、多様な地域の文化遺産を活用するように書き込むことが必要ではないかと。	ご意見いただいた多様な地域の文化遺産については、市史編さんに伴う調査研究により、その重要性が見いだされてきたこと、また、その活用については、文化、教育、観光などの各分野の協力が必要なことから、活用の促進が図れるよう、施策の方向性に追記した。	79
153	46 スポーツ活動の普及・促進	現状と課題 施策の方向性	東京オリンピック・パラリンピックは、開催できたとしても規模の大幅縮小は避けられず、「レガシー」に欠かせない「市民と選手の交流」も難しい状況である。あえて、「オリ・パラのレガシー」に触れる必要があるか。なくても（あるいは、ラグビーWCに置き換えても）趣旨は通じるので、再検討されたい。	オリ・パラの開催可否にかかわらず、ラグビーWCやオリ・パラに係る今まで積み重ねてきた事業等も含め、未来につないでいくレガシーであると認識しており、事前キャンプの公開練習や市立小学校での選手による講演等、機運醸成のために行った事業もその対象であると考えています。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
154	46 スポーツ活動の普及・促進	めざす姿	「スポーツタウン府中の実現」とは何か。意識啓発ですませて良いのか。	次期スポーツ推進計画(案)では「スポーツタウン府中」に、「市民が日常生活にスポーツを取り入れ、元気で健康に暮らしているまち」「スポーツを通じた交流とにぎわいのあるまち」「市民がトップチーム、アスリートに愛着を持ち、応援しているまち」「市民がスポーツを通じて、市民としても誇りを持てるまち」という意味を持たせています。これらを実現できるよう、意識啓発だけでなく、スポーツ活動を推進していきます。施策の方向性に、取組例を追記します。	81,85
155	46 スポーツ活動の普及・促進	現状と課題	「本市のレガシー」とは何か。具体的な記述が欲しいです。	モニュメントや施設・設備だけでなく、ホストタウンとしての交流や機運醸成のために行った事業等から得た経験を含め、本市のレガシーであると考えています。施策の方向性に、取組例を追記します。	81,85
156	47 スポーツ環境の整備	施策の方向性	スポーツ施設に係る全体の配置適正化計画の策定においては、昨今のスポーツの多様化を十分に考慮し、多くの人が、利用できる機能を整備してほしい。	配置適正化計画の策定に際し、スポーツの多様化にを十分に考慮することを追記します。	83
157	47 スポーツ環境の整備	その他	レガシーと共に、スポーツ施設のあり方も変わろうとしている今、公マネの考え方も含め、現在ある陸上競技場(300メートルトラック)、野球場(ライトが短い)も含め、整理検討すべきです。	配置適正化計画の検討において整理検討してまいります。	83
158	48 トップチーム等との連携	現状と課題	153と同じ理由で、文中の「オリ・パラ」に触れる必要があるか。とくにトップチームとの連携では、ラグビーWCが与えた影響のほうが大きいといえないか。記述について、再検討されたい。	オリ・パラの開催可否にかかわらず、ラグビーWCやオリ・パラに係る今まで積み重ねてきた事業等も含め、未来につないでいくレガシーであると認識しており、事前キャンプの公開練習や市立小学校での選手による講演等、機運醸成のために行った事業もその対象であると考えています。	-
159	49 社会を主体的・創造的に生き抜く力の育成	施策の方向性	指標には、学力学習調査の項目が存在している。公教育において「学力の向上」は欠かせぬ要素であり、以下のように変えたらどうか。 ・子どもたちが新しい時代に求められる... 子どもたちが学力と、新しい時代に求められる...	学力の向上(確かな学力)は重要な要素ではあるが、学習指導要領では、新しい時代に求められる資質・能力の一つとして位置付けられており、「豊かな人間性」「健康・体力」と併せて実現を図ることとされているため、原案どおりとする。	-
160	50 学びの機会を保障するための支援の充実	施策の方向性	昨今問題となっているヤングケアラーの問題を、どこかに書き込んだ方がいいのではないか。	指導室が記載。 子どもたちをとりまく課題は多岐にわたり、いわゆるヤングケアラーもその一つである。そのため、「児童・生徒が抱える悩みや課題」に内包されているものと捉えている。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ	
161	50	学びの機会を保障するための支援の充実	現状と課題	「経済的理由による就学困難」について、その社会的背景に触れるべき。少なくとも、昨今の状況で言えば、コロナ禍での経済苦境について。そして、「貧困の連鎖を断つ」ためと、問題に取り組む市の積極的姿勢を打ち出すべきではないか。	対応案：経済的理由にコロナを起因としている点を追記。 対応しない部分：「貧困の連鎖」については、本事業は就学困難な児童生徒に対する学びの機会を保障するための制度のため、ここでは記載しない。	89
162	51	子どもの学びを支える教育環境の充実	現状と課題	少人数学級への取り組みへの課題は？	少人数学級への移行に伴い、教員増や教室増への対応が必要となりますが、教員増については、都が行う事務となり必要な教員数が確保されるものと捉えています。教室増については、教室の不足が見込まれる学校と多目的室などの転用について調整を図ってまいります。	-
163	51	子どもの学びを支える教育環境の充実	その他	府中市内の小中学校が老朽化し、順次建替えられるのは喜ばしいことですが、その間、既存の建物のバリアフリー化には積極的に取り組んでいただきたいです。	既存建物のバリアフリー化については、各校で実施する校舎内トイレ改修において、各校1か所「誰でもトイレ」を設置するほか、地下に体育館のある重層体育館について、エレベータ設置工事を実施しています。	-
164	53	青少年健全育成活動の推進	施策の方向性	大麻や性被害に巻き込まれるケースなど、具体的な表現で書き込んだ方がいいのではないか。	国の計画を踏まえ「SNSをはじめとするインターネットに係る青少年の被害防止等」を、「自撮り被害やSNSでの誹謗中傷など、インターネットに係る青少年の被害防止等」に変更する。なお、大麻については、薬物乱用防止に関する啓発との連携を検討する。	93

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料 7 - 4 修正ページ
165	57 魅力ある景観の保全・形成	施策の方向性	甲州街道沿いの景観、中央高速道路沿線・下の景観など、これまでの開発により失われた景観をとりもどし、歴史的風致、緑豊かな景観に修景してゆく方向性も考えてゆくことが必要なのではないか。	府中市景観条例に基づく景観計画において、甲州街道沿道は、一般地域の幹線道路沿道地区、中央自動車道沿いについては、大部分が、一般地域のその他住宅地等に位置付けをして、新たな開発事業に際して、景観計画の景観形成基準や景観ガイドラインの配慮事項に基づき、歴史的資源や周辺の緑など景観に配慮するよう協議を行っております。	-
166	58 公共交通の利便性の向上	現状と課題	「受益者負担の観点からの効率的な運行方法の検討」が課題であること自体は理解するが、昨今の市民生活の状況も見極めて検討されるべき。以下のような記述変更を求めたい。 ・労働人口の減少が見込まれる中、... 労働人口の減少や、新型コロナウイルス感染症拡大が経済面などで市民生活に与えた影響も見極めて...	効率的な運行方法の検討に当たっては、ご指摘のとおり、昨今の社会情勢の変化に伴う市民生活への影響も配慮すべきものと考えていますので、記載内容を次のように修正します。なお、素案の下段「施策の方向性」において、「社会情勢の変化」や「市民ニーズ」を把握した上で検討を行うと記載しております。 (現行案)「受益者負担の観点から～」 (修正案)「受益者負担の観点も踏まえ～」	95
167	58 公共交通の利便性の向上	現状と課題	「受益者負担の観点から～」 削除するべきではないか。 運賃値上げに直結しているかに思える。	コミュニティバスの運行経費に係る補助金は、増加傾向にあり、事務事業点検においても適正な受益者負担を指摘されていることから、総合計画に記載すべきものと考えています。しかしながら、効率的な運営手法の検討については、昨今の社会情勢など様々な観点を踏まえて取り組んでいくものと考えていますので、記載内容を次のように修正します。 (現行案)「受益者負担の観点から～」 (修正案)「受益者負担の観点も踏まえ～」	95
168	59 市内の拠点におけるまちづくりの推進	その他	基地跡地には、是非エリアマネジメントの手法を活かして欲しい。	府中基地跡地留保地周辺地区では、現在推進するイノベーション創出まちづくりを推進することにより、エリアマネジメント体制を構築してまいります。	-
169	60 けやき並木と調和したまちづくりの推進	現状と課題 施策の方向性 協働により 推進したい 取組	他の項目にも見られるが、コロナ禍の影響が残っているであろう7次総合計画前期中間内、「イベント」の強調は違和感がある。「けやき並木ならではの個性を活かした空間利用」など、書き方を変えたほうが良い。 協働による取組でも、以下の書き方でよいと考える。 ・けやき並木の空間を活用したイベントに関すること けやき並木の空間の魅力的な活用に関すること	次の取り消し線部分を削除・下線部分を追記 ・このため、けやき並木の保護管理を市民との協働で進めるとともに、けやき並木の空間を活かした様々な事業 様々なイベントの開催や憩いの場としての活用を多様な主体が連携して行うなど、魅力やにぎわいの向上に取り組むことが求められています。 ・都市再生推進法人である一般社団法人まちづくり府中を中心として民間事業者等によるけやき並木やペDESTリアンデッキ等の魅力的な空間を活用した事業イベントの開催などを通じ、中心市街地のにぎわいの創出や商業の活性化を図ります。 ・けやき並木の保護管理や周辺環境の整備と、けやき並木やペDESTリアンデッキ等の魅力的な空間活用空間を活用したイベントに関すること。	97,98

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
170	60 けやき並木と調和したまちづくりの推進	その他	けやき並木のみならず、ペDESTリアンデッキ等も含めた魅力ある街づくりを進めるために、Area Management.	次の取り消し線部分を削除・下線部分を追記 ・都市再生推進法人である一般社団法人まちづくり府中を中心として民間事業者等によるけやき並木やペDESTリアンデッキ等の魅力的な空間を活用した事業イベントの開催などを通じ、中心市街地のにぎわいの創出や商業の活性化を図ります。 ・けやき並木の保護管理や周辺環境の整備と、けやき並木やペDESTリアンデッキ等の魅力的な空間活用空間を活用したイベントに関すること。	97,98
171	61 安全で持続可能な道路機能の保全・整備	その他	当事者目線でのバリアフリーの推進が必要である。	都市計画道路の整備や、既存道路の改修と合わせ、歩行空間のユニバーサルデザインに努めてまいります。	-
172	64 地域商業の振興	現状と課題	コロナ禍が与えたダメージについて触れるべき(商業関係者は、最も影響を受けた層なので、なおのこと)	次の下線部分を追記 商店や商店街では、顧客のスーパーや大型商業施設への流出のほか、経営者の高齢化による後継問題や会員店舗の減少、空き店舗の増加、電子決済の普及等によるインターネットショッピング利用者の増加といった問題に加え、近年では新型コロナウイルス感染症の影響による新しい様式への対応といった課題にも直面しています。今後は消費者行動の変化や消費者ニーズを的確に捉え、個人商店や商店街がそれぞれの魅力を磨いた上で、消費者に選ばれる特徴のあるサービス提供等を行うことが必要です。	99
173	64 地域商業の振興	施策の方向性	プレミアム付商品券発行の成果を踏まえた施策の方向性が、加えられて良いのではないか。	次の下線部分を追記 ・経済を揺るがすような突発的な事象が発生した際は、市内事業者の支援及び市内消費の喚起のため、むさし府中商工会議所と連携し、プレミアム付商品券事業の実施を検討します。	99
174	66 観光資源の活用・創出による地域活性化	施策の方向性	アフターコロナを意識し「新しい観光需用」の具体的なイメージがないため、「主要な取組」と連動していない。	コロナ禍を境にして旅行者の意識・行動が多様化しています。例えば、健康志向の高まりから、緑空間やスポーツ環境などへの関心も高まっています。今後、ワクチンの接種が進み、旅行を実施できる状況になった場合、さらに多様化した旅行需要が出てくることも想定されます。現時点で具体的なイメージを記載すると、状況の変化により、イメージが乖離する恐れがあるため、個別施策には明記せず、「新しい観光需要」を注視し、ターゲットを明確にした情報発信を行うことで、対応してまいりたいと考えております。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料 7 - 4 修正ページ
175	66 観光資源の活用・創出による地域活性化	その他	以下のように、シビック・プライドを前面に出すべき。従来の施策名は、意欲的に映らない。 『シビックプライドの醸成による地域活性化』	本施策は、第7次府中市総合計画基本構想(案)の基本目標4の基本施策「にぎわいの創出」における、めざすまちの姿「歴史、文化、自然などの調和した府中市の魅力が観光資源として活用され、市民や観光客でまちがにぎわっています。」に対応したもので、観光を基軸とした施策であるため、施策名を変更すべきではないと考えます。	-
176	66 観光資源の活用・創出による地域活性化	めざす姿 現状と課題	地域活性化には、「市民のまちへの参加意欲」や「府中市への熱量を高める」ことが重要で、それには「市民による発信」を求める前に、「市民への府中の魅力発信」と、「府中市民による新たな魅力発掘のアシスト」が不可欠。こうした観点を加えた記述がされるべき。	本施策を計画的に推進するため、現在並行して、具体的な施策を盛り込んだ「観光振興プラン」の策定作業を進めております。その中で、「市民への府中の魅力発信」や「府中市民による新たな魅力発掘のアシスト」などを展開していく予定です。委員のご指摘を受け、このような観点が分かりやすく伝わるよう、施策の方向性に追記します。	101
177	66 観光資源の活用・創出による地域活性化	施策の方向性	176を踏まえ、以下のような記述を加えるべき。市民のなかに「市民のまちへの参加意欲」や「府中市への熱量を高める」ため、府中市の新たな魅力を発掘と発信を、市民協働により進めます。	176の対応内容を参照	101
178	66 観光資源の活用・創出による地域活性化	めざす姿	シビックプライドとは何かを日本語で示して欲しい。	追記します。	101
179	66 観光資源の活用・創出による地域活性化	めざす姿	City promotionの考え方が必要です。この記述ではあまりにもバラバラ。	追記します。	101
180	66 観光資源の活用・創出による地域活性化	協働により推進したい取組	以下への変更を検討されたい。 観光に係るプラットフォームの構築や... シティプロモーションに係るプラットフォームの醸成や...	本施策は、第7次府中市総合計画基本構想(案)の基本目標4の基本施策「にぎわいの創出」における、めざすまちの姿「歴史、文化、自然などの調和した府中市の魅力が観光資源として活用され、市民や観光客でまちがにぎわっています。」に対応したもので、観光を基軸とした施策を展開いたします。	-
181	68 農地の保全及び魅力ある農業経営への支援	施策の方向性	すでに展開されている取組であるが、「学校給食の府中産農産物利用の推進」も加えるべき。	次の下線部分を追記 「府中産農産物について、市民が購入しやすい環境づくりや <u>学校給食への出荷の促進</u> 、新鮮さ・特徴などの効果的なPRにより地産地消の推進を図るとともに、関係機関との連携・協力による特産化や6次産業化の支援を通じて流通拡大を図ります。	103

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料 7 - 4 修正ページ
182	101 多様な主体による地域貢献活動の促進と市民協働の推進	現状と課題	行政職員のなかに「市民協働」への理解が浸透することが、最大の課題である。この観点を、書き加えるべき。	コーディネート機能の充実に「市や中間支援組織等による」を加え、市もコーディネート機能を拡充することを明記します。 コーディネート機能を果たすためには、市民協働への理解に留まらない知識とスキルが要求されるものと捉えています。 また、協働推進課が各課のサポートを行うなど、職員が協働しやすい環境を整備することも重要だと考えております。	105
183	101 多様な主体による地域貢献活動の促進と市民協働の推進	施策の方向性	「市民協働の視点から行政の事業を見直すとともに、市民協働の考え方を取り入れた施策展開を図る」との方向性を、施策の方向性としてまず打ち出すべき。	まちづくりの大綱にも、協働によるまちづくりが各施策を推進するにあたっての基本方針となっているため、こちらの項目には改めての記載はしていません。	-
184	101 多様な主体による地域貢献活動の促進と市民協働の推進	その他	「市民協働都市宣言」の中には、(市民、市)ともに考え、汗を流し、一体となって地域課題の解決に取り組む、とあるが、市と市の職員が市民とともに汗を流すべきものだと考えているようには思えない。	お互いの立場、特性を生かし、地域課題の解決に向けて取り組むことが協働であると考えております。	-
185	101 多様な主体による地域貢献活動の促進と市民協働の推進	その他	職員研修の充実のみが市職員の対応かと思うと情けない。	施策の方向性に記載した内容は、市民活動センターのみでなく、市も連携して行っていくものです。今後は、職員研修を充実させるだけでなく、職員のコーディネート機能の拡充を図っていきます。 なお、本基本計画の全ての施策について協働の視点からも検討を行っており、職員は協働の視点を常に持ちながら施策を推進していると考えております。	-
186	101 多様な主体による地域貢献活動の促進と市民協働の推進	その他	府中市の協働は「市民を安く、又は無償で市の思うように使うこと」と思っていないかどうか、検証すべきである。その上で、この総合計画の一つの肝である市と市民協働について、踏み込んだ記述をお願いしたい。	まちづくりの大綱にもあるように、対等の立場で連携、協力することが協働であり、どちらか一方が過度な負担を負うものではないと考えております。	-
187	102 多様な媒体を活用した市政情報の発信	目的	「市民が～」の前に「サステナブルシティ府中を指針に」を挿入し、「サステナブルシティ府中を指針に、市民が～」とする。 【理由】“サステナブルシティ府中”を指針と定めることにより、第7次府中市総合計画策定の旗幟を鮮明にし、該総合計画に対する市民の理解と共感を深めたい。府中市はグリーンシティ計画のもとで、緑あふれるまちを整備した。サステナブルシティはグリーンシティを更に前進し深化した指針である。	事務局が記載。 サステナブルシティ(持続可能なまち)については、まちづくりの基本理念に「このまちに住み続けることができるよう、まちづくりを進めます。また、時代や環境の大きな変化にも柔軟に対応し～」としており、施策全体に方向性が含まれるものと考えているが、本施策に限定して記述することは想定していません。	-
188	102 多様な媒体を活用した市政情報の発信	その他	デジタルデバイド(ICTを利用できる者と利用できない者との間にもたらされる格差)の対応について申し少し踏み込んだ具体策が欲しい	引き続き広報ふちゅうを発行するとともに、デジタルツールでの発信を行います。その他、デジタルツールに手段が限られるなどの場合には、担当課で個別に支援を行います。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
189	103 広聴活動・情報公開の充実	施策の方向性	情報公開ニーズに応えるには、まず、公文書館を含めた、公文書管理体制の充実が不可欠。この点の記述が加えられるべき。	文書検索目録の公開を継続するとともに、公文書管理体制を充実させることで、積極的な市政情報の公開につなげます。	107
190	103 広聴活動・情報公開の充実	その他	パブリックコメント実施方法の改善検討（コメント数が非常に少ない）	パブリックコメントの実施方法については引き続き検討していきます。	-
191	104 安定的な行政サービスの提供	その他	<p>昨年は、議員と職員が関与した「官製談合」事件があった。市の対応は注目されており、対策を強く打ち出すことは、いわば総合計画の「目玉」のひとつである。</p> <p>そこで、施策104のうち、入札・契約に係る内容を、独立した施策『透明で公正な契約システムの構築』として打ち出すことが考えられる。すでに議会では、市の取組の方向性も報告されたところでもあるので、ぜひ検討されたい</p>	<p>契約事務（公正な入札事務の執行）については、事件の再発防止の観点から重要な取組であると認識しておりますが、独立した施策としてではなく、『安定的な行政サービスの提供』の中で取組を進めていくことを考えております。</p>	-
192	104 安定的な行政サービスの提供	その他	<p>施策の方向性「第三者機関を設置して…」の項や、施策の方向性「公正で効率的な入札事務の執行」などは、独立した施策に移すことが可能である。</p>	191参照。	-
193	104 安定的な行政サービスの提供	施策の方向性	<p>職員の文書作成能力、法務能力、的確な秘書業務等は「職員の行政リテラシー」というような統一した言葉でまとめ、その向上を目指すことというような表現は取れないであろうか？</p> <p>「内部統制」も施策の方向性にて触れておく必要があるのではないか。</p>	<p>「職員の行政リテラシー」という言葉で一括りにしてしまうと、実際にどのような能力や業務を指すのか曖昧になるため、素案の表現としております。</p> <p>内部統制については、内部統制の制度化に向けた検討段階のため、『主要な取組』にのみ記載しております。</p>	-
194	105 市民ニーズや行政課題に的確に対応できる人材の育成	施策の方向性	人材「育成」の前に、人材の「確保」が重要。とくに技術系職の確保が大変とも聞く。施策の方向性として、「職員確保に向けた幅広い広報活動」を加えたらどうか。	<p>職員採用試験においては、全体としては一定の受験者数となっていることから、市民サービスの維持・向上のためには、採用した職員をどう育成していくかに主眼をおいて対応していく必要があるものと捉えて、施策の方向性を設定しております。</p> <p>なお、技術職につきましては、個別の状況を踏まえた上で、人員の確保に向け、別途対応してまいります。</p>	-
195	105 市民ニーズや行政課題に的確に対応できる人材の育成	指標	<p>施策の方向性には、「市民サービスの維持・向上」「職員提案制度」が示されているので、第6次と同様に、「職員の対応等に満足している割合」と「採用された職員提案数」を入れた方が良いと思う。</p>	<p>「職員の対応等に満足している割合」については、第6次総合計画の目標値を90.0%としている中、令和2年度の実績値が89.2%となっており、目標値の達成に向けて順調に推移しています。また、本指標は、待遇に焦点を当てた指標ですが、「市民サービスの維持・向上」を図るには、待遇だけでなく、様々な職務遂行能力の向上が必要となります。以上のことから、従来と同じ指標ではなく研修受講者数を指標とし、多くの職員が研修を受講することにより、能力を高めることが効果的と判断しました。</p> <p>「採用された職員提案数」については、今後、職員提案制度そのものの在り方や方向性を検討していくため、指標としては設定していません。</p>	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料 7 - 4 修正ページ
196	105 市民ニーズや行政課題に的確に対応できる人材の育成	その他	市職員はゼネラリストであると言われますが、部門によってはスペシャリストが必要です。建設、都市計画等にはスペシャリストの方たちがいらっしゃいますが、ぜひ、福祉の場にも継続的なスペシャリスト配置をお願いいたします。	職員の採用や異動に際しては、各職場の業務内容や業務量などを十分に情報収集し、『適材適所』となるような職員配置を検討してまいります。	-
197	106 デジタル化の推進と情報セキュリティの強化	その他	行政のデジタル化は、地方自治体として慎重な対応の記述を求める。特に国が性急に進める標準仕様化は地域の特色に基づいた自治体の独自施策の実施が困難になる懸念がある。	標準仕様化については、「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」が公布される等、行政のデジタル化につきましては、各法律に定められた内容の中で、対応を進めてまいります。	-
198	106 デジタル化の推進と情報セキュリティの強化	施策の方向性	「現状と課題」で取り上げられた課題のうち、「」への対応が記載されていないので、追記が必要ではないか。職員の「セキュリティレベル」という表現は一般的でしょうか？セキュリティに関する「意識」を指すのかその「能力(スキル)」を指すのか分かりにくいので表現に工夫が必要ではないか？	施策の方向性について 「職員のセキュリティレベルも含め、情報セキュリティの強化をしていきます。」の記載につきまして、「情報資産の漏えいがないよう職員の情報セキュリティに対する意識向上や最新のセキュリティ技術の導入などに取り組んでいきます。」に変更いたします。 主要な取組 「セキュリティレベル」につきまして、「情報セキュリティへの意識」に変更いたします。	109,110
199	107 長期的視点に立った公共資産の維持・活用	現状と課題	「優先順位」の設定に関する「基準」づくりにも言及すべきではないか。	公共施設跡地や既に保有している財産の優先順位については、立地や大きさ、その時の行政需要や民間需要などを踏まえて総合的に活用可否を判断していくため、状況により優先順位が変わってくることから、基準の設定はなじまないと考える。また、職員も限られたなかでの対応となるため、その都度状況を見ながら判断していくことが望ましいと考える。	-
200	107 長期的視点に立った公共資産の維持・活用	その他	「財政の健全化」は「将来にわたり安定した行政サービスの提供」の目的であり、基本方針4「健全かつ持続可能な財政運営」の柱だと思いますが、その手段が「歳入に見合った歳出」(p.157)ということになるのでしょうか？ 老朽化したとはいえ、「公共施設やインフラ」がその運営のためのソフト(マンパワー含む)とともに「市民ニーズに応じた柔軟なサービスの提供にとり、また、協働にとっても不可欠なインフラである」とすれば、それを歳入(収入を増やす)のための「経営資源」としてのみとらえるのは狭い気がしますが如何でしょうか？ 201と同じ	事務局が記載。 歳入に見合った歳出となるように努めることが健全な財政運営に向けた原則と考えております。 公共施設やインフラについては公共サービスの提供拠点であり、市民の利用に供するためのもの、また、市民活動や協働の場としても重要な役割を果たす資産であると認識しておりますが、限られた財源の中で、これらを最適な状態で維持管理・更新していくためには、中長期的なマネジメントの観点も重要になってきますので、このような記載としております。	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
201	108 持続可能な財政運営	その他	<p>「財政の健全化」は「将来にわたり安定した行政サービスの提供」の目的であり、基本方針4「健全かつ持続可能な財政運営」の柱だと思いますが、その手段が「歳入に見合った歳出」(p.157)ということになるのでしょうか？</p> <p>老朽化したとはいえ、「公共施設やインフラ」がその運営のためのソフト(マンパワー含む)とともに「市民ニーズに応じた柔軟なサービスの提供にとり、また、協働にとっても不可欠なインフラである」とすれば、それを歳入(収入を増やす)のための「経営資源」としてのみとらえるのは狭い気がしますが如何でしょうか？</p> <p>200と同じ</p>	200参照。	-
202	108 持続可能な財政運営	主要な取組	<p>歳入増加策として、例えばICTに関連する企業や研究開発機関を誘致することによって新たな財源確保に努め、持続可能な財政運営を図る。</p> <p>【理由】日鋼町には金融機関を集結したインテリジェントパークがある。大学×産業×行政がコラボした仮称「ICTパーク」の設立構想によって、基本目標の3(文化・学習)と4(都市基盤・産業)を積極展開し、合わせて歳入の安定確保を図りたい。</p>	<p>事務局が記載。 重要な視点ではあるが、近年の本市に具体的施策はない事項である。広い準工業地域の存在が前提になる。</p>	-

	施策	項目	ご意見等	対応内容	資料7-4 修正ページ
203	全体	SDGs	各項目ごとに載っているのので、この表の説明を最初にして欲しい。	SDGsは、説明や各施策と17の目標の対応、レイアウトを含め分かりやすい表記を検討する。	-
204	全体	その他	私はスマホを検索しながら基本計画を解読しているが、英語の用語は日本語の解釈を入れた方が分かりやすいと思う。 (例)SDGs、フレイル予防、ユニバーサルデザイン、ジョブローテーション、クラウドファンディング等	文章・用語表現は全体的に調整する予定。	-
205	全体	指標	現状が「確認中」「集計中」などで目標が設定できている理由が不明なものは、コメントできない。	数値が確認でき次第設定。	-
206	全体	その他	コロナ、ポストコロナの社会経済状況の変化に対し、危機感がない。これは大きな問題である。	コロナを踏まえた社会経済状況の変化に対する考えを記載する予定。	-
207	全体	その他	今まで審議してきた基本構想と整合性のない部分がある。	基本構想(案)の内容や、審議会の中で出てきた意見等も踏まえた上で、基本計画(案)を作成している。	-
208	全体	その他	「協働」とは市民・民間団体・行政が共に汗を流していくものであるという認識が欠如している。	基本計画(案)の上位階層である基本構想(案)に協働に関する記載を幅広く位置付けたほか、基本計画(案)にも各施策に協働により推進したい取組を設定するとともに協働単独の施策を設けており、これまで進めてきた本市の協働を一層深化、進化させる意識を持ち取組を進めます。	-
209	全体	その他	第6次計画比べ雑である。特に、「協働により推進したい取組」の項は、深化、進化させるべきである。	208参照。	-
210	全体	その他	予算についての記述がない。	計画期間中の財政見通しを記載する予定。	-
211	全体	その他	文章は短く、「または」等で繋いでいるものが多いが、箇条書きにした方が分かりやすい。	文章・用語表現は全体的に調整する予定。	-
212	全体	SDGs	全体として「SDGs」の説明は冒頭でしておく必要があると思う。 また、併せてSDGsの17目標との関係を全体的に示す工夫はどうか。例えば、施策1～69と17目標を対応させて総覧出来る一覧表を冒頭か巻末に見開きで入れるなど。	SDGsは、説明や各施策と17の目標の対応、レイアウトを含め分かりやすい表記を検討する。	-
213	全体	その他	カタカナ(横文字については)は、一般的でない場合、平易な日本語で記述できれば、そちらのほうが良いのではないかと。用語解説を加えることも検討を要する。	文章・用語表現は全体的に調整する予定。	-
214	全体	SDGs	(1)から(17)までの該当箇所に「○」を付けているが、該当する目標のデザインをページ最上部に着けた方が、分かりやすく、見栄えもするのではないかと。	SDGsは、説明や各施策と17の目標の対応、レイアウトを含め分かりやすい表記を検討する。	-